

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	高齢者胃全摘術症例における術前既往症数が術後栄養障害にあたる影響についての検討		
2. 対象患者	2015年1月から2020年5月までに胃癌に対して胃全摘術が施行された70歳以上の患者様		
3. 対象となる期間	2015年1月1日 ~ 2020年5月31日		
4. 実施診療科等	弘前大学消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	赤坂 治枝	所属 弘前大学消化器外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	胃切除後は胃切除後障害と呼ばれる胃切除に伴う体の内部の変化により生活の質が低下します。胃切除後障害は栄養悪化や体重減少の原因となりますが、特に胃全摘を行った場合は体重減少率が大きく栄養悪化を来しやすいと言われております。手術後の栄養悪化を避けるために、栄養療法の有効性が提案されておりますが、どのような患者さんに有効かについてわかっていません。高齢者は多くの病気を持っていることが多く、術後の栄養障害を来しやすく、栄養障害からの回復が困難となる場合もあると考えられます。高齢者において、術後栄養障害を来しやすい術前因子を明らかにし、栄養療法を行うことは重要です。		
8. 研究の目的	70歳以上の高齢者で胃全摘術を施行された患者において、術前に複数の既往症を有することと術後の栄養障害の関連性について検討すること。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	診療録を利用し、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、各種検査所見、画像所見、手術所見、術式、合併症などの手術関連情報、術後経過、予後などの情報を利用します。		
10. 個人情報の保護	患者個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。		
11. 利益相反に関する状況	なし		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 赤坂治枝		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080